【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第３区分
【発行日】平成28年11月4日(2016.11.4)

【公開番号】特開2016-3779(P2016-3779A)
【公開日】平成28年1月12日(2016.1.12)
【年通号数】公開・登録公報2016-002
【出願番号】特願2014-122484(P2014-122484)
【国際特許分類】
Ｆ２５Ｄ　23/02　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ２５Ｄ　23/02　　３０５Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成28年9月15日(2016.9.15)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
本発明に係る冷蔵庫は、少なくとも一つの貯蔵室を有する冷蔵庫本体と、冷蔵庫本体の前面に設けられ、貯蔵室を閉じる複数の扉と、隣り合った複数の扉同士の境界に設けられた隙間を閉塞する仕切部材と、を備え、仕切部材は、扉同士の境界に沿って延び、隣り合う扉間に広がる幅を有する矩形状の基部、基部の扉に対向する両側部から貯蔵室側に延びるフランジ部、及び少なくとも一方のフランジ部の端部から扉側に向かって延びる係合部を有し、熱を伝導する熱伝導部材と、熱伝導部材を加熱する加熱部と、貯蔵室の側の面に形成され基部の幅方向における少なくとも一方の側において係合部と係合する係合受け部を有し、熱伝導部材よりも貯蔵室の側に設けられ、係合部と係合受け部とが係合して熱伝導部材と共に加熱部をカバーするカバー部材と、を備え、カバー部材は、基部の幅方向における少なくとも一方の側に設けられ、貯蔵室に向かう方向に対し垂直の方向に延び、フランジ部に接触する突出部を有し、突出部に接触するフランジ部と、係合受け部に係合する係合部とで、カバー部材が挟持される。
【手続補正２】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
少なくとも一つの貯蔵室を有する冷蔵庫本体と、
前記冷蔵庫本体の前面に設けられ、前記貯蔵室を閉じる複数の扉と、
隣り合った複数の前記扉同士の境界に設けられた隙間を閉塞する仕切部材と、を備え、
前記仕切部材は、
扉同士の境界に沿って延び、隣り合う扉間に広がる幅を有する矩形状の基部、前記基部の扉に対向する両側部から前記貯蔵室側に延びるフランジ部、及び少なくとも一方の前記フランジ部の端部から扉側に向かって延びる係合部を有し、熱を伝導する熱伝導部材と、
前記熱伝導部材を加熱する加熱部と、
前記貯蔵室の側の面に形成され前記基部の幅方向における少なくとも一方の側において前記係合部と係合する係合受け部を有し、前記熱伝導部材よりも前記貯蔵室の側に設けら

れ、前記係合部と前記係合受け部とが係合して前記熱伝導部材と共に前記加熱部をカバーするカバー部材と、を備え、
前記カバー部材は、
前記基部の幅方向における少なくとも一方の側に設けられ、前記貯蔵室に向かう方向に対し垂直の方向に延び、前記フランジ部に接触する突出部を有し、
前記突出部に接触する前記フランジ部と、前記係合受け部に係合する前記係合部とで、前記カバー部材が挟持される
冷蔵庫。
【請求項２】
前記熱伝導部材は、
一方の前記フランジ部の端部から延びる前記係合部を有し、且つ、他方の前記フランジ部の端部から前記貯蔵室に向かう方向に延び、孔が設けられた切起こし部を有し、
前記カバー部材は、
前記基部の幅方向における一方の側において前記係合受け部を有し、且つ、前記基部の幅方向における他方の側において前記孔に挿入されて前記切起こし部と係合する突起を有する
請求項１記載の冷蔵庫。
【請求項３】
前記熱伝導部材は、
両方の前記フランジ部の端部から延びる前記係合部を有し、
前記カバー部材は、
前記基部の幅方向における両方の側において前記係合受け部を有する
請求項１記載の冷蔵庫。